

センサで周囲の障害物検知

舗装用ローラに衝突防止装置

大成ロテック

大成ロテックは、新たに開発したローラの衝突防止補助装置を現場に導入した。ローラに搭

載したセンサで障害物を検知することで、走行を自動で停止させ、周辺の作業員や障害物との接触

を防止することが可能となる。

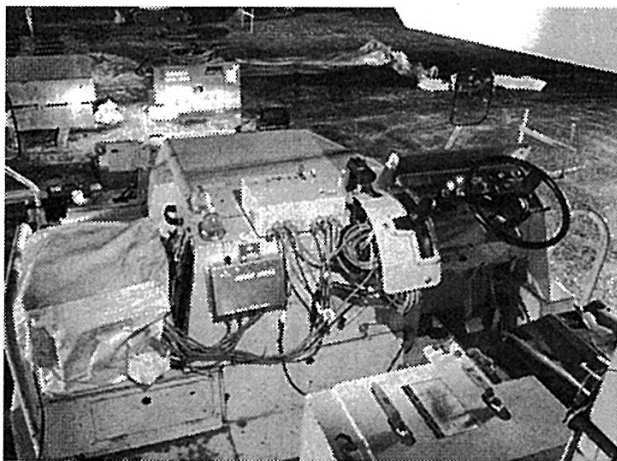
同装置は、機械周囲の障害物を検知し運転席に据え付けたユニットで警報やランプを介しオペレーターに注意

喚起する。急ブレーキが原因のオペレーターの転落やそれに伴う舗装面の損傷を防止すべく、段階的な減速制御が可能な走行レバーリンク機構も採用している（特許出願中）。また、装置はレンタル機種の方々のボルト穴を利用して固定するため、穴空け加工などをせずに装置を取り付けることができる。電気・油圧経路の改造も不要で、汎用性に優れた仕様としている。

同装置を導入した現場

は、国土交通省四国整備局発注の「松山空港エプロン改良工事」。現場からは「空港現場は夜間作業がメインとなるため、安全補助装置を取り付けることで作業員と重機の接触による災害防止など、工事の安全性向上に貢献するものとなる」との声が寄せられた。

同社では今後、適用機種の拡大を図るとともに、小型転圧機械への導入や装置の小型化などを鋭意進めていく考えだ。



装置取付後の運転席